

立体布マスクを作ってみよう

① 材料の準備

手元にある材料で工夫しよう
(写真は学校で用意している材料です)

- ・表布 (型紙よりも耳側を1~2cm大き目)
- ・ガーゼ(2枚重ね)
- ・ゴム(22cm~30cm) × 2
- ・縫い針、待ち針、糸、ハサミ
- ・アイロン、ミシン(あれば)



② 型紙を写す

表布とガーゼ(2枚重ね)を中表にしてチャコペン(消えるものがあればなおよい)やボールペンなどで型紙を写す。布の表がわからない場合(特にガーゼ)は気にしない!

2つ折りにアイロンしておくとの作業がしやすい。



表布は型紙よりも耳側を2~5cm大きめに (1~5cm)

③ 中央のカーブを縫う

ミシン(手縫い可)で表布 とガーゼ(2枚重ね)を中表にまち針を打ち縫い合わせる。

表布(写真)は2枚重ね、ガーゼは4枚重ねになる。縫いはじめと縫い終わりは返し縫い、または糸結



まち針は、両端(縫いはじめ~縫い終わり)→中央→間、間にとめる

びで処理する。返し縫いが難しい時は糸結びしよう。(写真は返し縫い)

④ 上下のカーブをカットする

縫わなかった線(上下のカーブ)をハサミで型紙の線通りに切る。直線側は切らない。「わ」になっている部分はハサミで切れ目を入れ、次の工程でアイロンでわる。ガーゼも同様にする。(写真は表布)



次の工程で表布とガーゼを中表にして待ち針をうち時に、ガーゼ側から縫い代を開いた状態で待ち針を打つと、ミシンがけがしやすい。

⑤ カーブの縫い代を処理する

上カーブの縫い代は次の縫い合わせの工程で縫い込むが下カーブの縫い代は浮くので余分はカットする。ガーゼも同様にする。(写真は表布)



まち針は中央→両端→間、間にとめる

⑥ 表布と裏布を縫い合わせる

ミシン(なければ手縫い)で表布 とガーゼ(2枚重ね)の縫い代を外側に(中表)して待ち針を打ち、上下のカーブを縫い合わせる。

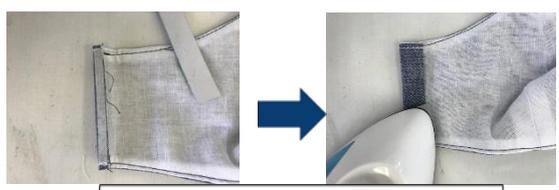
縫い始めと縫い終わりは返し縫い。(ガーゼの端から端まで)

下カーブの縫い代はミシンがけてから余分を切るとよい。ガーゼ側から縫い代を開いた状態で待ち針を打つと、ミシンがけがしやすい。



⑦ あきぐちからひっくり返す

ひっくり返してアイロンで形を整えてから上下に押さえのステッチミシン(0.2cm)



三つ折りのアイロンをしっかりとかけてから端ミシンしよう

⑧ 三つ折りし、ゴム通し口を作る

表布を0.5cm→1.5cmの三つ折りにして押さえの端ミシンをかける。(端から0.2cm)縫いはじめと縫い終わりは返し縫いをしっかりする。

ゴムを通して...



出来上がり